

“男女共同参画の現状”

日本小児科学会の取り組み

2016年12月

獨協医科大学越谷病院 小児科

男女共同参画推進委員会 担当理事

松原知代

男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会

男女共同参画社会基本法第2条

男女共同参画社会基本法(1999年)

9つの政策

1. 女性活躍推進法
2. 女性の活躍促進
3. 女性の活躍状況の「見える化」
4. ポジティブ・アクション

社会のあらゆる分野において、
2020年までに、指導的地位に女性が
占める割合が少なくとも30%程度に
なるようにする

男女共同参画社会基本法(1999年)

9つの政策

5. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)
6. 女性に対する暴力の根絶
7. 男性にとっての男女共同参画
8. 地方との連携
9. 災害対応

内閣府男女共同参画局ホームページ

<http://www.gender.go.jp/>

日本小児科学会の取り組み

- 2002年 小児科女性医師の働く環境改善委員会
 - 2003年 女性医師の職域での環境改善プロジェクト委員会
 - 2006年 小児科医のQOLを改善するためのプロジェクトチーム
 - 2006年 女性医師の職域での環境改善委員会
 - 2012年 小児医療委員会内小児科医ワークライフバランス改善ワーキンググループ
 - 2014年 男女共同参画推進委員会
- 現在に至る

基本理念

日本小児科学会は会員の小児科診療、研究、教育を通じて男女共同参画社会の推進に貢献します

基本方針

1. 男女共同参画の視点にたった学会活動
2. 意識啓発
3. 環境整備
4. 教育

小児医療委員会理事 江原伯陽先生による
男女共同参画推進委員会設置要望書から

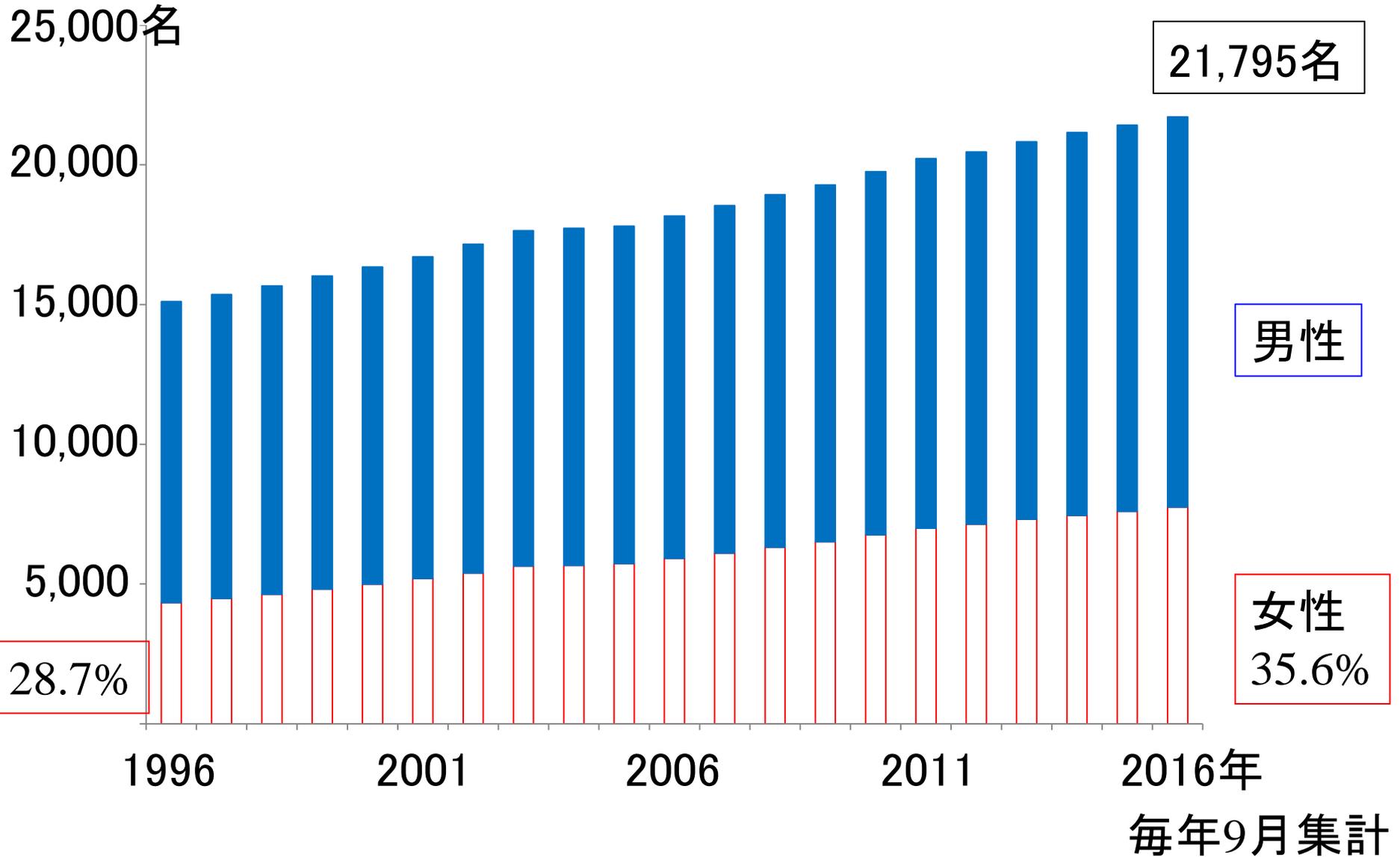
日本小児科学会の基本方針

1. 男女共同参画の視点にたった学会活動

1) クォーター制による女性理事選出

2) 各種委員会に女性委員の積極的登用

日本小児科学会の会員数



日本小児科学会の会員数

年齢別会員数(2016年)

年齢 (才)	会員数 (人)	女性の比率 (%)
20～29	1,089	41.8
30～39	2,373	44.1
40～49	4,861	42.3
50～59	4,356	30.9
60～69	4,137	23.1
70～	1,970	27.6

日本小児科学会役員

年度	2006	2008	2010	2012	2014	2016
理事						
男	19	19	20	20	20	20
女	1 (5.0%)	1 (5.0%)	0	0	1 (4.8%)	2 (9.1%)
代議員						
男	542	545	545	545	533	532
女	56 (9.4%)	52 (8.7%)	49 (8.2%)	49 (8.2%)	50 (8.6%)	45 (7.8%)
女性不在 都道府県	24 (51.1%)	23 (48.9%)	23 (48.9%)	23 (48.9%)	25 (53.2%)	25 (53.2%)

全国区の女性理事枠1名が設定された

日本小児科学会各種委員会

年度	2006	2008	2010	2012	2014	2016
委員会数 *	25	33	37	46	33	31
委員数						
男	235	345	440	552	445	436
女	31 (11.7 %)	46 (11.8 %)	48 (9.8 %)	59 (9.7 %)	56 (11.2 %)	79 (15.3 %)

増加

* ワーキンググループも含む、
日本小児連絡協議会合同委員会は日本小児科学会員のみ

日本小児科学会の基本方針

2. 意識啓発

- 1) 学術集会・講演会で男女共同参画に関する企画
の用意と継続的な実行
- 2) 若手・女性医師支援の講演会などの企画
- 3) HPで男女共同参画活動情報発信



第118回日本小児科学会 特別企画2

先輩に学ぶキャリアの積み方・活かし方

～ subspecialtyを考える ～

主催：日本小児科学会 男女共同参画推進委員会
共催：日本医師会（予定）

どうして小児科医になりましたか？そしてどうやって小児科内の専門分野を決めましたか？時々学生や若手医師が先輩にぶつける質問だと思います。改めて先輩達に、Generalを勉強しつつどうやってsubspecialtyを決めたのか聞いてみたいと思いませんか？

小児科学会男女共同参画推進委員会では“subspecialtyを考える”をテーマに、先輩の話の聞いたり、お互いに話し合う場を作りました。現在は様々な状況に置かれている医師に色々なニーズがあると思います。結婚、出産、育児、介護、自分の病気など自分自身を取り巻く環境に対応しつつ、将来のsubspecialtyを考えたいと思っている皆さん、男女を問わずどうぞご参加下さい。

日時：2015年4月19日(日) 14:00～16:00



場所：J7会場（大阪国際会議場 12階 1202）

座長：江原伯陽（エバラこどもクリニック、日本小児科学会理事）
宮田章子（さいわいこどもクリニック、日本小児科学会理事）

14:00～15:20 先輩からのメッセージ

演者1：江原伯陽（エバラこどもクリニック）

Subspecialtyを考えるーそのダイナミックな展開に思いを馳せるとき

演者2：松本小百合（東大阪市保健所）

公衆衛生医師という仕事

演者3：濱田洋通（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

My career as a MD in university hospital and its crosstalk with my family growth

演者4：福原里恵（県立広島病院新生児科）

新しい「いのち」と家族の「きずな」の育み ～新生児科医の仕事～

15:30～16:00は小グループに分かれてフリートークを行います

先輩に学ぶキャリアの 積み方・活かし方

Part 1:

2015年4月19日(日)

大阪 学術集会 77名

Part 2:

2016年5月14日(土)

札幌 学術集会 123名

Part 3: 予定

2017年4月

東京 学術集会

カフェ企画

ブースを4つに分け、4つのテーマについて討論

- ◆ 学術・研究
- ◆ 医療体制
- ◆ コミュニティ
- ◆ 将来の小児科医

2016年は“将来の小児科医を考える委員会”の企画
2017年は合同で行うことを計画中

小児科学会学術集会における女性座長の割合

	一般演題	各種シンポジウム
2010(岩手)	5.7%	2.8%
2011(東邦)	8.1%	9.1%
2012(久留米)	8.6%	2.2%
2013(広島)	9.3%	3.4%
2014(三重)	7.3%	2.3%
2015(大阪)	20.4%	20.4%
2016(札幌)	12.5%	12.5%

三石委員長調査

男女共同参画推進
委員会活動開始

2. 意識啓発

3)HPで男女共同参画活動情報発信

1. リレーコラム:キャリアの積み方 私の場合

現在 27名(女18名、男9名)

- 子育てのみならず、留学、サブスペシャリティ、転職、ガラスの天井の打ち破り方など多岐に渡る経験談をぜひあなたのキャリア形成の参考に！
- 小児科学会誌にもシリーズとして順次掲載

2. 小児科医バンク

女性支援

日本小児科学会の基本方針

3. 環境整備

- 1) 復職支援
- 2) 子育て支援
- 3) 勤務時間への配慮
- 4) 勤務形態の多様性

1. 離職した医師の復帰支援のための再研修プログラムの実施

2. 小児科医バンクの運営

- 2006年にパイロットプロジェクトとして大阪地区に限定して運用開始
- 2007年7月から日本全国を対象に運用開始
- 最近のアクセス数 1日平均24～32件
- 現在(2016年10月)登録114施設、求人34件

3. 子育てのための勤務配慮に関するアンケート調査

- 全国の大学医局長を対象に実施
- 結果は2017年小児科学会学術集会で発表

日本小児科学会の基本方針

4. 教育

1) 学生へ

2) 管理職へ

3) 関係者へ

4) 小児科受診者へ

医学教育の講義に取り入れる

(平成22年から文科省通達)

学生を含めてのシンポジウムの開催など

今後の課題